

教科名	数学	単位数	3単位	担当者	寺尾 智彦 浅野 一晃
科目名	数学C	学年・学級	3年次理系クラス		
使用教科書 副教材等	改訂版 数学C (数研出版) 改訂版 サクシード数学C (数研出版) 攻略! 共通テスト Pick Up 数学 I+A, II+B+C (東京書籍) 2027 ベストセレクション 大学入学共通テスト 数学重要問題集 (実教出版) その他				
1 学習の到達目標 (何ができるようになるのか)					
<ul style="list-style-type: none"> ・数学の論理や体系に関心を持ち、数学的な見方・考え方のよさを認識できるようになる。 ・数学的な見方・考え方を事象の考察に活用することができる。 ・数学的な見方・考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えることができる。 ・事象の考察にあたって、思考の過程を振り返って、多面的・発展的に考えることができる。 ・事象を数学的にとらえ、数学的な表現・処理・推論の方法を身に付けることができる。 ・数学における基本的な概念、法則、用語、記号などを理解し、知識を身に付けることができる。 					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a, 知識及び技能	b, 思考力,判断力,表現力等	c, 主体的に学習に取り組む態度	d,その他	
観 点 の 趣 旨	数学的活動を通して、複素数平面、式と曲線および数学ⅠAⅡBの数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	数学的活動を通して、複素数平面、式と曲線および数学ⅠAⅡBの事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考える。	複素数平面、式と曲線および数学ⅠAⅡBの定理・公式などを適切に用い、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。	友人と共に数学的活動を通して、教科書に載っている解答以外の解法を考える心を養う。	
主たる評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・課題 ・小テスト ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・定期考査 ・小テスト ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・定期考査 ・小テスト ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・定期考査 ・小テスト ・レポート 	
3 学習の目標と振り返り (試験後のレポートを用いて実施する)					
	<<目 標>> ～何ができるようになりたいか具体的に～		<<振り返り>> ～学習の振り返りと今後の課題～		
第1回定期 考査まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
第2回定期 考査まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
第3回定期 考査まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容							
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
2年	複素数平面 (4月に単元テスト)	◎	○	◎	◎	<p>b: 複素数平面と図形について考察することができる。</p> <p>c: 複素数の情報・除法、ド・モアブルの定理について考察することができる。</p> <p>d: 複素数を極形式で表現することができる。</p>	<p>レポート・定期考査</p> <p>定期考査・単元テスト</p> <p>定期考査・単元テスト</p>
4	式と曲線(続き)	◎	○	◎	◎	<p>b: 2次曲線と直線の共有点の個数と判別式の符号の関係について考察することができる。</p> <p>c: 円と楕円の関係や、線分の内分点と楕円の関係について考察することができる。2次曲線の平行移動を扱うことができる。判別式を用いて2次曲線と直線の間隔を調べることができる。媒介変数表示を用いて曲線を表現し処理することができる。直交座標で表された2次曲線を極方程式で表すことができる。</p> <p>d: 楕円を適切に表現することができる。双曲線の方程式や焦点、漸近線を求め、その概形をかくことができる。曲線の極方程式を扱うことができる。</p>	<p>レポート・定期考査</p> <p>定期考査・単元テスト</p> <p>定期考査・単元テスト</p>
5~11	攻略! 共通テストビック アップ	◎	○	◎	◎	<p>b: 「実戦問題」を解く中で、数学的な見方・考え方を事象の考察に活用し、論理的に考えることができる。</p> <p>c: 「練習問題」を解く中で、定理・公式などを適切に使い、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を考察することができる。</p> <p>d: 基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを確認し、「Quick Check」「カギの確認」を解くことができる。</p>	<p>課題・レポート・定期考査</p> <p>課題・レポート・定期考査</p> <p>課題・レポート・定期考査</p>
11・12	模試演習 or プレテス	◎	◎	◎	○	同上	課題・レポート・定期考査

※aは全て共通：関心をもち、考察に活用しようとしている（授業中の観察、課題等）。